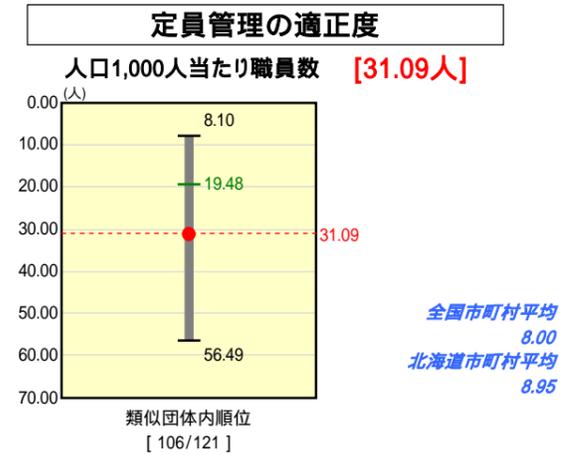
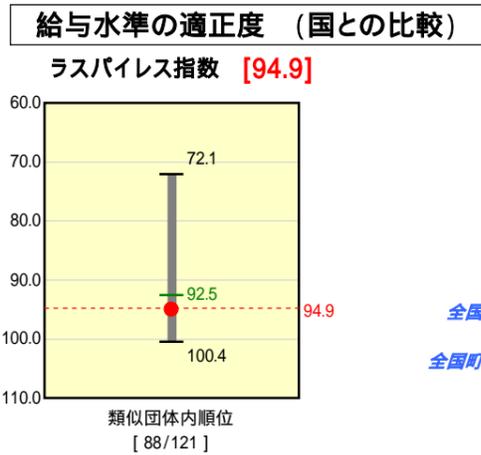
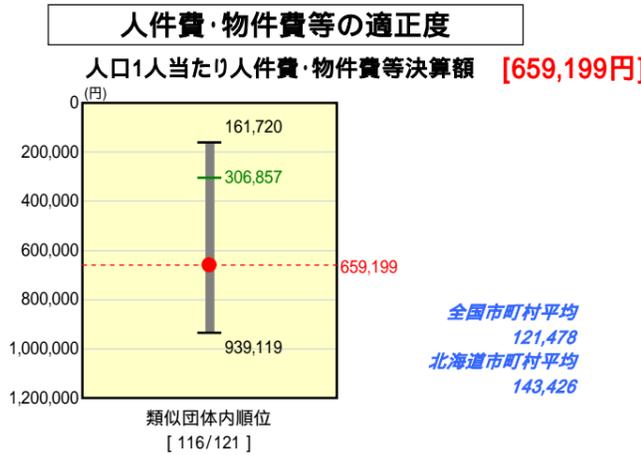
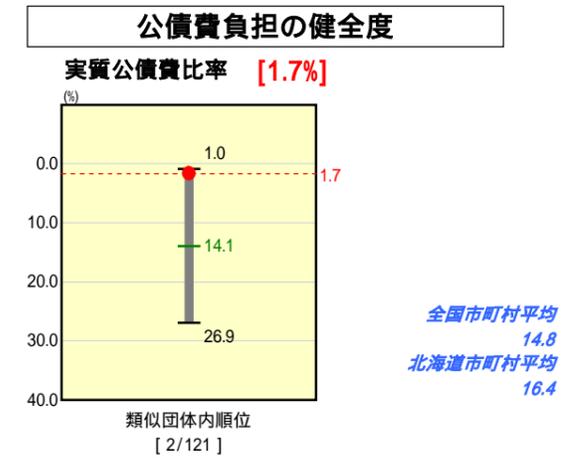
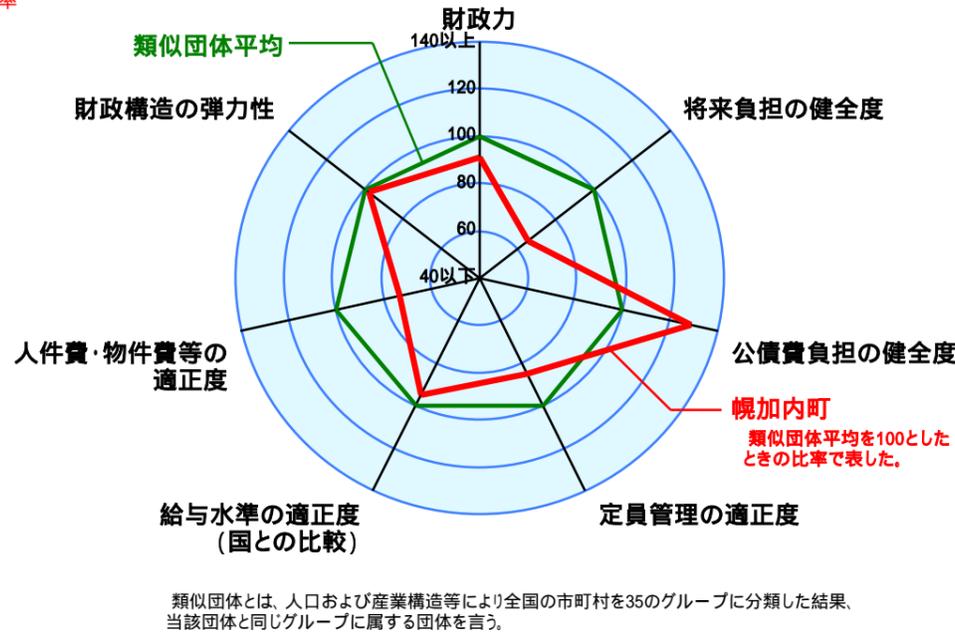
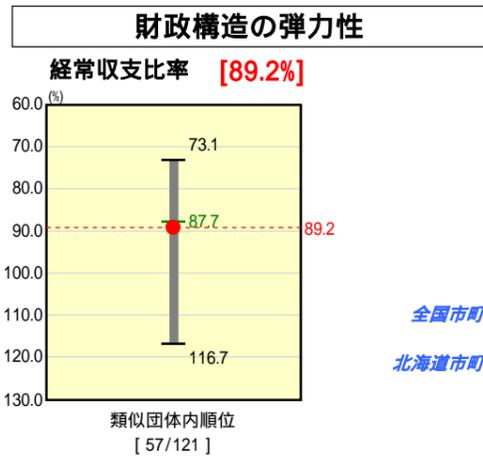
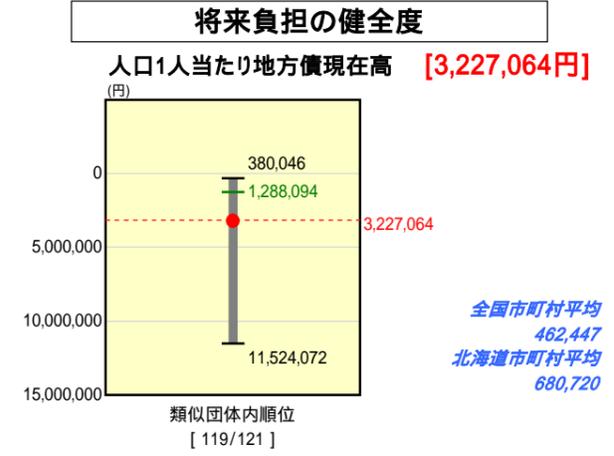
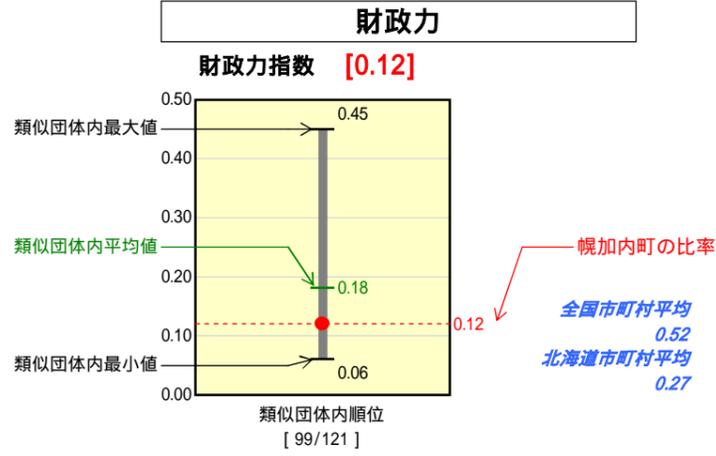


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

北海道 幌加内町

人口	1,930人	(H18.3.31現在)
面積	767.03	km ²
歳入総額	3,538,221	千円
歳出総額	3,481,862	千円
実質収支	52,437	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

・財政力指数
人口の減少や景気の低迷等により、財政基盤が弱く類似団体平均を下回っている。退職者不補充等により職員数の削減、人件費の削減(5年間で10%減)、その他経常的経費の削減(5年間で10%の減)をすると共に、固定資産税の税率改正(段階的に1.4%→1.7%へ)等を実施し、税収増やその他自主財源の制度見直しを図り歳入確保に努める。

・経常収支比率
経常一般財源(普通交付税等)の減少により、近年比率は上昇しているが、行財政改革の取組により経常的経費の削減(5年間で10%)を図り現状の水準を維持する。

・起債制限比率
民間資金の起債繰上償還実施により、類似団体平均を大きく下回っているが、平成20年度には通常ベースになると予想される。振興計画、行革実施計画、財政計画の調整を図り、新規発行起債の抑制に努める。

・人口1人当たりの地方債残高
人口が少なく、類似団体平均を大きく上回っている。振興計画、行革実施計画、財政計画の調整を図り、新規発行起債の抑制に努め10年間で50%以下を目指す。

・ラスパイレズ指数
近年は95前後で推移しているが、類似団体平均を上回っている。行革実施計画、財政計画の目標達成のため独自の削減について検討する必要がある。

・人口1,000人当たりの職員数
平成11年77人から平成18年60人(22%)と定年退職者の不補充や民間委託の推進により削減を実施しているが、更に今後4年間で4%の削減を予定し、適切な定員管理に努める。